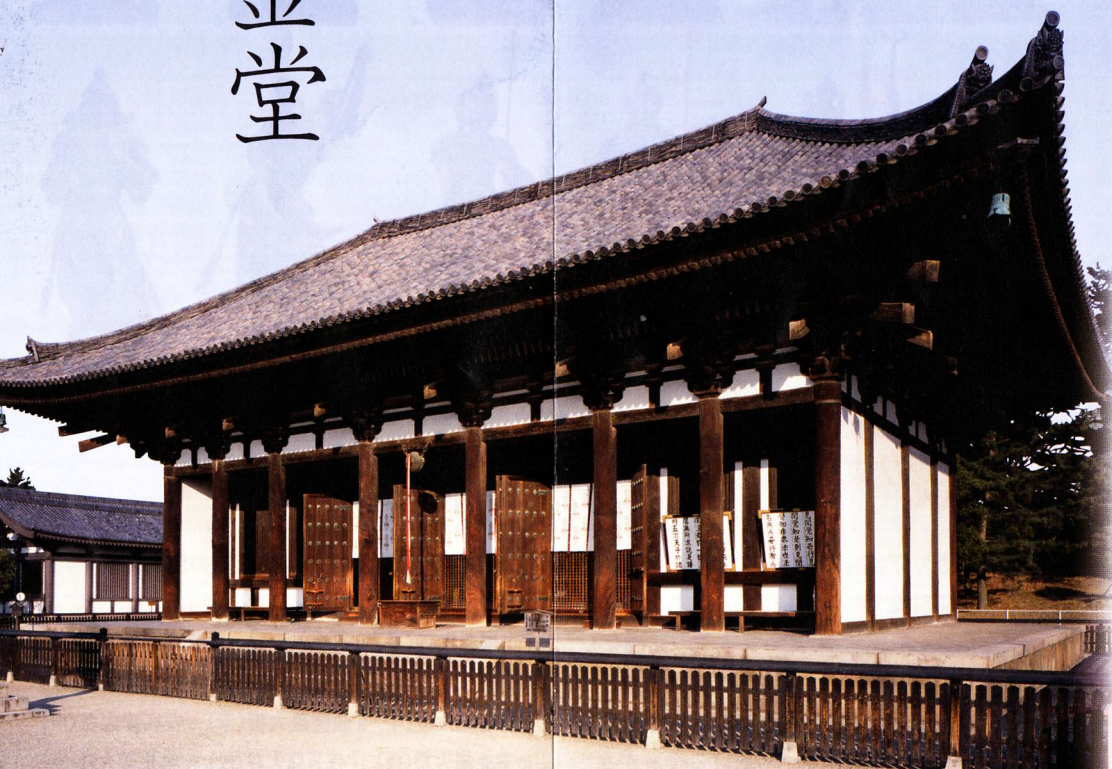
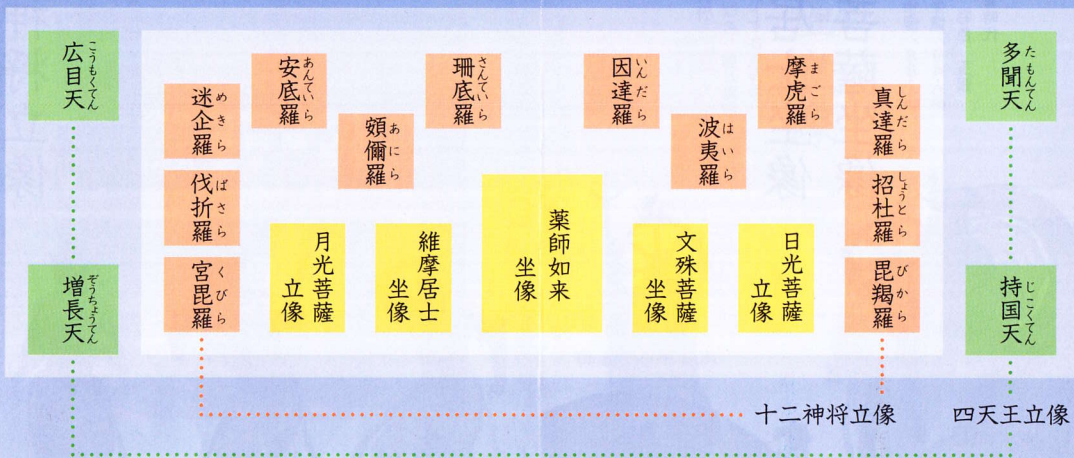


Head Temple of the Hossō School KOHFKUJI Eastern Golden Hall

奈良 興福寺 東金堂

諸尊 配置図



国宝
東金堂
桁行七間 梁行四間
寄棟造 本瓦葺
15世紀初期・室町時代

興福寺の本堂である中金堂の東にあることから東金堂と呼ばれる。神亀3年(726)に聖武天皇が叔母の元正太上天皇の病氣全快を願って造られた薬師如来坐像を本尊とする。創建当初は床に緑色のタイルが敷かれ、薬師如来の浄瑠璃光世界がこの世にあらわされていた。以来5度の被災、再建を繰り返し、今の建物は応永22年(1415)に再建された。前一間を吹き放しとし、三手先斗棋、寄棟造で、奈良時代の雰囲気伝える。

PHOTO: 飛鳥園

重要文化財

銅造

日光菩薩像・月光菩薩像

日光・月光菩薩立像

像高 日光菩薩像…300.3cm

月光菩薩像…298.0cm

銅造 鍍金

7世紀末・白鳳時代

重要文化財

銅造

薬師如来坐像

像高 255.0cm

銅造 漆箔 彫眼

15世紀初期・室町時代



Yakushi Nyorai (Muromachi Period)

東金堂の本尊

薬師如来は、浄瑠璃光世界の教主で、人々の災いや苦を除き、病を治し、寿命を伸ばし、薬を与え、正しい道を教える。高い宣字形裳懸座に結跏趺坐。通肩の大衣を着、左手は掌を上にして薬壺を乗せ、右手は掌を前にかかげ五指を立てる。肉髻が低く、螺髪らぼうの粒が大きい。土形原型による鑄銅造り。



Gakkō Bosatsu (Hakuho Period)



Nikkō Bosatsu (Hakuho Period)

薬師如来を補佐

薬師如来の浄瑠璃光世界の代表的二菩薩で、薬師如来が人々のために働いておられるのを補佐する菩薩。向って右脇に日光菩薩立像、左脇に月光菩薩立像を安置する。7世紀末、飛鳥の山田寺に安置するために造られた像で、12世紀末に東金堂に移された。

興福寺 東金堂

年中無休
9時～17時(入堂は16時45分まで)



興福寺は、藤原氏の氏寺として和銅3年(710)の平城遷都とともに創建されました。五重塔、三重塔、東金堂、南円堂、北円堂などの建造物、阿修羅立像や銅造仏頭、無著・世親菩薩立像、金剛力士立像など数多くの国宝・重要文化財が現在に伝わります。また、《天平の文化空間の再構成》を合言葉に、境内整備事業を進めています。

法相宗大本山 興福寺

〒630-8213 奈良市登大路町48

Tel (0742)22-7755

<http://www.kohfukuji.com>

国宝
木造
四天王立像
像高 153.0cm×164.0cm
素材 一木造 彩色 腫は黒漆
9世紀・平安時代

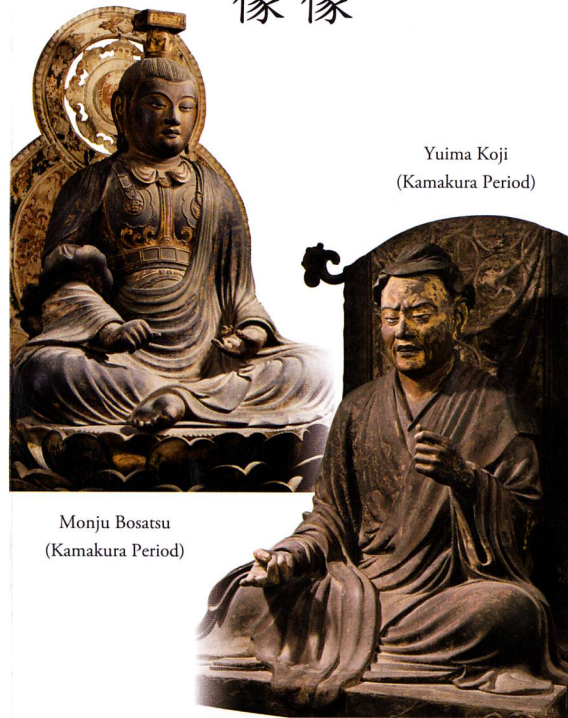


The Four Heavenly Kings (Heian Period)

圧倒的な量感の守護神

須弥壇しゆみだんの四方、向って右前方・持国天じこくてん(1)、左前方・增長天ぞうちやうてん(2)、左後方・広目天こうもくてん(3)、右後方・多聞天たもんてん(4)。うち增長天と多聞天は兜、持国天と広目天は髻もどりを結ぶ。像や邪鬼じゃきの頭髪、体の一部は漆で肉づけし、腫はこに黒漆を用いる。頭から足下の邪鬼、岩座まで一ひのき本の松材から彫り出され、肉太で重量感あふれる。

国宝
木造
維摩居士坐像
文殊菩薩坐像
像高 維摩居士坐像…88.1cm
文殊菩薩坐像…94.0cm
素材 寄木造 彩色 玉眼
12世紀末・鎌倉時代



Yuima Koji
(Kamakura Period)

Monju Bosatsu
(Kamakura Period)

「弁舌第一」対「智慧第一」

弁舌に長ける維摩居士は、仏教徒の模範とされた人物で、『維摩詰所説経』は仏教徒を啓発した経典として、今日まで広く読まれる。仏師定慶じやうけいが彫り、法橋幸円ほつきやうごうえんが彩色を施した。対する文殊菩薩は、智慧の象徴であり、大乘経典を代表する菩薩である。こちらも維摩居士坐像と同じ定慶の作と思われる。

国宝

木造

じゅうにしんしやう

十二神将立像

像高 113.0×126.3cm
素材 寄木造 彩色 彫眼
13世紀初・鎌倉時代



The Twelve Divine Generals (Kamakura Period)

12体すべてが残る貴重な作例

本尊薬師如来の守護神で、左右に各6体、計12体を安置する。守護神としての性格をあらわすために武装し、また仏敵を威圧するとともに、人々の邪悪な心に激しく怒る。薬師如来の12の誓願に応じてあらわれた薬師如来の分身。12体もの群像に個性的な動きをつけ、しかも全体としてまとめあげる技量が高く

評価される。鎌倉時代の天部彫刻の代表作。

各像が頭上につける支獣は次の通り。

- 1 毘羯羅大将〈子〉 2 招杜羅大将〈丑〉 3 真達羅大将〈寅〉
- 4 摩虎羅大将〈卯〉 5 波夷羅大将〈辰〉 6 因達羅大将〈巳〉
- 7 珊底羅大将〈午〉 8 頗伽羅大将〈未〉 9 安底羅大将〈申〉
- 10 迷企羅大将〈酉〉 11 伐折羅大将〈戌〉 12 宮毘羅大将〈亥〉